

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米						
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦	13.56		14.08		11.88	
大豆	3.16		2.21		8.18	
飼料作物	28.03		26.64		26.13	
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	1.94		3.37		3.40	
・野菜	1.94		3.37		3.40	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他	9.70		10.09		6.80	
・菜豆	3.35		1.35		1.00	
・てん菜	1.71		7.89		5.80	
・澱粉原料用馬鈴しょ	0.00		0.00		0.00	
・小豆	4.64		0.85		0.00	
畑地化					56.39	

※畑地化の面積については、前年度作付面積等は内数、当年度及び令和8年度作付予定面積等は外数で計上しており、記載方法が異なります。

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
				（令和５年度）	（令和８年度）
1	麦、大豆類 （黒大豆含む）	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 小麦収量 大豆収量	作付面積 1,672a 土壌分析実施面積 1,672a 小麦収量 696kg/10a 大豆収量 230kg/10a	作付面積 2,006a 土壌分析実施面積 2,006a 小麦収量 615kg/10a 大豆収量 265kg/10a
2	飼料作物 （飼料用米、W CS用稲を除く）	飼料作物作付支援	飼料作物作付面積 湿害対策実施面積	飼料作物作付面積 2,803a 湿害対策実施面積 2,803a	飼料作物作付面積 2,613a 湿害対策実施面積 2,613a
3	菜豆類	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 菜豆収量	作付面積 335a 土壌分析実施面積 335a 菜豆収量 143kg/10a	作付面積 100a 土壌分析実施面積 100a 菜豆収量 180kg/10a
4	てん菜、澱粉原料用馬鈴しょ	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 てん菜収量 澱粉原料用馬鈴しょ収量	作付面積 171a 土壌分析実施面積 171a てん菜収量 8,300kg/10a 澱粉原料用馬鈴しょ収量 ー kg/10a	作付面積 580a 土壌分析実施面積 580a てん菜収量 6,000kg/10a 澱粉原料用馬鈴しょ収量 3,800kg/10a
5	小豆	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 小豆収量	作付面積 464a 土壌分析実施面積 464a 小豆収量 170kg/10a	作付面積 ーa 土壌分析実施面積 ーa 小豆収量 ーkg/10a
6	野菜 （別紙参照）	収量向上支援	作付面積 土壌分析実施面積 加工用馬鈴しょ収量 食用馬鈴しょ収量 スイートコーン収量	作付面積 194a 土壌分析実施面積 194a 加工用馬鈴しょ収量 3,480kg/10a	作付面積 340a 土壌分析実施面積 340a 加工用馬鈴しょ収量 3,450kg/10a スイートコーン収量 1,200kg/10a
7	飼料作物 （飼料用米、W CS用稲を除く）	飼料作物団地化助成	飼料作物作付面積 飼料作物団地化面積	飼料作物作付面積 2,803a 飼料作物団地化面積 2,013a	飼料作物作付面積 2,613a 飼料作物団地化面積 1,782a

※必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
 ※目標期間は３年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:本別町農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	収量向上支援	1	8,900	麦、大豆類(黒大豆含む)	湿害対策、土壌分析の実施
2	飼料作物作付支援	1	5,600	飼料作物(飼料用米、WCS用稲を除く)	湿害対策
3	収量向上支援	1	33,200	菜豆類	湿害対策、土壌分析の実施
4	収量向上支援	1	36,400	てん菜、澱粉原料用馬鈴しょ	湿害対策、土壌分析の実施
5	収量向上支援	1	37,200	小豆	湿害対策、土壌分析の実施
6	収量向上支援	1	33,200	野菜(別紙参照)	湿害対策、土壌分析の実施
7	飼料作物団地化助成	1	4,000	飼料作物(飼料用米、WCS用稲を除く)	団地化

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

※5 支援年限を記入してください。